



高専通信

2012/12

Vol. **6**

TOYAMA National College of Technology



CONTENTS

- 02 富山高専ヘッドライン
「商船学科卒業証書・海事システム工学専攻修了証書 授与式」
- 04 教務主事からのメッセージ
- 05 合同球技大会
- 06 各種全国大会の成績
- 08 県外工場見学・流通見学(4年生)
- 10 高専ロボコン(アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012)
- 12 北斗祭
- 14 県内工場見学(3年生)・県外研修(2年生)
- 15 News&Topics
- 16 平成25年度入試情報/学生相談室からのお知らせ



平成24年度
商船学科
卒業証書

海事システム工学専攻
修了証書
授与式

学び舎での思い出と将来への希望を胸に、 卒業生・修了生の新たな船出。



5年間を振り返って

学生会会長
石黒 慎之介

気付けばもう卒業。部活、勉強、寮生活とひたむきに日々を過ごすなかで、一喜一憂を繰り返した5年間。部活での挫折、喜び、信頼する指導者や先輩との出会いなど授業では教わることのできない大切なものを得た気がします。

本当に困った時に手を差し伸べてくれる人が周りにいるか、そして自分自身が手を差し伸べてもらえるに値する振る舞いができているかを時々立ち止まって考えてこれからも歩んでゆこうと思っています。



プPPER、只今より修了生が最後の言葉を述べる。

海事システム工学専攻
杉江 実宝

長かったようで短かった7年半の高専生活が今終わろうとしています。人生の3分の1をこの射水キャンパスで過ごし、多くの方と出会い、多くのことを学びました。特に専攻科での2年間は学会参加や教官方との討論を通して勉強だけでなく「人」として学ぶべきことが多く日々成長出来たように感じます。これから出ていく社会には様々な困難が待ち受けていると思いますが、それが多難であればあるほど自分のためだと思い日々精進していきます。

この学び舎を巣立つことは悲しくもありますが、商船の卒業生であることに誇りを持ち、私たちは社会の荒波へと立ち向かっていきます。本当に教職員の皆様お世話になりました。



平成24年9月25日(火)、富山高等専門学校卒業証書・修了証書授与式が、射水キャンパス第2体育館で挙行されました。商船学科は1年間の航海実習があることから、また、専攻科海事システム工学専攻は入学が半年ずれるため、他の学科よりも半年遅れての卒業・修了となります。

式では、米田校長が航海実習用の白い制服に身を包んだ商船学科卒業生40名、海事システム工学専攻修了生3名の一人ひとりに卒業証書・修了証書を手渡し、「卒業・修了おめでとう。社会情勢は波穏やかとは限らないが、本校で学んだ知識・技術を生かし、社会情勢の変化に対応して欲しい。」との告辞がありました。来賓からの祝辞、祝電の披露があった後、在校生代表として学生会長のムハマド イリヤス君(電子制御工学科4年)からの送辞を受け、卒業生・修了生を代表して東 泰智君が、「若潮丸実習や乗船実習などを経て、準備の大切さという教訓を受け、仲間との強い絆を得ることができた。私たちが育ててくれた教職員や両親に感謝している。」と力強く答辞を述べました。

最後は、卒業生たちが壇上に整列し、出航の際の登壇礼にならい、「ごきげんよう」を三唱したのち帽子を宙高く投げる伝統の別れのパフォーマンスで学び舎をあとにし、人生の新たな航海へと船出していきました。

平成24年度卒業生・修了生

商船学科…40名 海事システム工学専攻…3名

主な進路

■ 商船学科

- 就職先 第一中央マリン、日本海洋掘削、ウィングマリタイムサービス、三協、日本海洋事業、宇徳、ダイトー、商船三井フェリー、東洋信号通信社、商船三井、ファブリカ富山、JX日鉱日石タンカー、日本通運、名港海運、北陸発電工事株式会社、太平洋日本汽船株式会社、インターモーダル、ニッスイマリン工業、富洋海運、加賀建設、東し、雄洋海運、川崎近海汽船、NSユナイテッド、神原汽船、ダイトーコーポレーション 曳船事業部、川崎汽船、グローバル・アシスト、ヤンマーエネルギー
- 進学先 東京海洋大学、神戸大学、専攻科

■ 専攻科

- 就職先 飯野海運、東洋信号通信、日本海洋事業

学生表彰

本校表彰規程によるもの

名称	航海コース	機関コース	海事システム工学専攻
学業優秀賞	梶原 愛	東 泰智	杉江実宝
皆勤賞	該当者なし	該当者なし	
精勤賞	該当者なし	山浦浩揚	

学会表彰(学科から学会等に推薦するもの)

名称	航海コース	機関コース	
日本航海学会奨学褒賞	石黒慎之介		
日本船舶海洋工学学会奨学褒賞	井上穂高	了舟隼人	
財団法人海技教育財団表彰	本林有美子	寺嶋悠記	
全日本船舶職員協会賞	石田桃子	林拳太明	
日本機械学会島山賞		道淵卓弥	
日本マリンエンジニアリング学会山下賞		中葉雄太	
独立行政法人航海訓練所による航海訓練課程実習成績優秀者賞	関口直人		
海技教育財団による航海訓練課程実習成績優秀者賞	植平知喜		
	関口直人		



新しい船出に乾杯!

商船学科 担任
河合 雅司

商船学科20期生の皆さん卒業おめでとうございます。

私は、横田先生、奥先生の後を引き継ぎ、5年生と実習生の1年半の間、担任として主に就職と進学のお世話をさせていただきました。担任として心残りな点もありますが、9月25日の卒業式の日と一緒に学校生活を送ってきた40名の学生が立派に卒業していく姿を拝見させていただき、感動しました。このクラスの担任をさせていただいたことに感謝しています。

これからは、企業や大学・専門学校等、皆さんが自分自身で選択した道へ進むこととなりますが、平穏な時はばかりでなく荒天の時もあるはず。5年半の学校生活で身につけた能力と気力で困難を乗り越え立派な人生を築き上げてください。

さあ、歩み出して下さい、夢に向かって一歩ずつ!

皆さんの新しい船出に乾杯!



海事システム工学専攻 6期生へ

海事システム工学専攻 担任
山本 桂一郎

専攻科海事システム工学専攻修了生のみなさん修了おめでとうござい。8月末に大学評価・学位授与機構の審査結果が届くまでは、皆さんも不安だったと思いますが、専攻科での努力が報われた結果となりました。私としても大変うれしく思っております。また、いろいろな面で叱咤激励をいただいた関係教職員の皆様のおかげであると感謝しております。クラス全員が寮生ということで、いつも仲良く、お互いに励まし合いながら学校生活を送っていました。とてもよいチームワークであったと思います。専攻科での研究生生活は、つらいこともあったと思いますが、むしろ充実した生活を送ることができたのではないかと考えております。さて、修了生は7.5年間慣れ親しんだ本校を離れ、新しい所属先に移ります。当然、いろいろな違いに戸惑うことになると思いますが、何事にも大きく構えて、さらに成長を続けていってほしいと思っています。



教育改革、質保証の動きについて

本郷キャンパス教務主事

本江 哲行

ここ数年で、日本を始め世界の教育が大きく変わろうとしています。その動きと高専の教育の関係を説明します。

これまで、教育に関する保証の多くは、教育システムの保障でした。例えば、高専では、技術者育成のためのカリキュラムを示し、授業科目と時間を示して教育を保障していました。しかし、学びの中心である学生からの視点、すなわち、学生が身につけた力や授業内容が明確ではなく、社会に対し教育の質の保証が不足するとともに、特色のある教育、個性のある教育が見えない状況にありました。

そこで、数年前から、世界中で教育改革や教育の質の保障に対する取組が始まりました。世界では、教育の質保証のネットワークが構築されるとともに、ユネスコやCDIOが教育の質の保障に取組みはじめました。日本でも、国の方針として第2期教育振興基本計画が発表され、基本施策として『学生の主体的な学びの確立に向けた大学教育の質的転換』と『大学教育の質の保証』が高等教育機関に求められています。当然、高専も該当します。

従来から、教育に関し、高専は高い評価を受けてきましたが、さらなる高度化と質の保証を行うために全国の国立高専においてモデルコアカリキュラム(試案)が示されました。モデルコアカリキュラムは、高専の卒業生が共通に到達すべき目標を定め、各高専の教育の内容・方法の一層の改善を図るための指針です。このモデルコアカリキュラムにより、教育の質保証とともに、学生自らが学修成果の達成状況を整理・点検し学習するために各高専がカリキュラムの改善する効果があります。また、他高専・他大学との単位互換、編入学後の単位認定が可能となるとともに、世界で通用する教育であることも保証できます。

富山高専でも、当然、学生を主体とし、世界に通用する学生を育てるために教育改善に努めていきますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



あなた方に解いてほしい謎?

射水キャンパス教務主事

遠藤 真

最近、次代を担う皆さんに解いてほしい謎に出会いました。

今年開催された国連持続可能な開発会議において、ウルグアイ大統領が指摘していましたので、スピーチの一部を引用して紹介します。

“……ドイツ人が1世帯で持つ車と同じ数の車をインド人が持てばこの惑星はどうなるのでしょうか？ 息するための酸素がどれくらい残るのでしょうか。……西洋社会が持つのと同じ消費を世界の70～80億人ができるほどの原料がこの地球にあるのでしょうか？ ……なぜ私たちはこのような社会を作ってしまったのですか？ マーケットエコミーの子供である私たちが間違いなくこの無限の消費と発展を求める社会を作ってきたのです。マーケット経済がマーケット社会を造り、このグローバリゼーションが世界のあちこちまで原料を探し求める社会にしたのではないのでしょうか？ ……競争で成り立つ消費社会で「みんなの世界を良くしていこう」というような共存共栄な議論はできるのでしょうか？ どこまでが仲間とどこからがライバルなのですか？ ……現代に至っては、人類が作ったこの大きな勢力をコントロールしきれていません。逆に、人類がこの消費社会にコントロールされているのです。……”

快適な暮らしのための消費を繰り返さざるを得ない者にとって、耳の痛い言葉ですが、「持続可能な発展」という語句が持つ意味の重さと複雑さが端的に示され、隠されている矛盾の大きさに気付き、驚きました。「持続可能な発展」とは単純な環境問題ではなく、新しい社会モデル、生活モデルの構築と実現が不可欠であると指摘されています。

白黒テレビ、冷蔵庫と洗濯機が庶民の三種の神器であった時代に育ち、カラーテレビ、クーラーと自家用車が新しい三種の神器となった時に暮らし、たくさん買って、売ることが生活を豊かにし、幸せになる途と教えられ、行動してきた私達の世代にとって、解けそうもない謎です。

グローバル社会に生まれ、インターネットや携帯電話でいつでも世界中の人とつながっているあなた方こそ、是非、この謎にチャレンジして下さい。

本郷キャンパス会場

4・5年生、専攻科

【競技種目】ビーチボール、ドッチビー、ソフトボール、フットサル



射水キャンパス会場

1~3年生

【競技種目】ビーチボール、ドッチビー、バスケットボール、サッカー



合同球技大会について

本郷キャンパス体育局局长
機械工学科4年 高橋 玄

今年度から両キャンパスで夏休みの日程が変更になり、それに伴って合同球技大会も準備の段階から大きく変化することとなりました。

最も苦労したのは、両キャンパスの意思の疎通と統一でした。両キャンパスの担当者が話し合うためのまとまった時間がなかなかとれませんでした。この困難を乗り越えて大会準備を終えることができました。

大会当日は、細かな点で準備不足によるミスが発生してしまいましたが、両キャンパスの学生会や先生方、学生の協力もあって、時間進行も大きく遅延することなく何とか無事に球技大会を終えることができました。そのための苦労も多々ありましたが、終わった後に「楽しかった。運営お疲れさま。」と学生に言ってもらえたことが何より嬉しく、また励みになりました。

合同球技大会の後には高専祭が控えています。準備する側はもちろん、参加する学生も一体となって、この行事を盛り上げていきたいと思っています。



合同球技大会を振り返って

射水キャンパス合同球技大会実行委員長
国際ビジネス学科3年 三箇 佐和子

今年度の合同球技大会は高学年が本郷キャンパス、低学年は射水キャンパスで行い、射水では私たち3年生が主体となって実施しました。新学科で行う球技大会は初めてだったため前例がなく、進行表などを作成するのがとても大変でした。今年度はドッチビー、サッカー、バスケ、ビーチバレーの4種目を行い、スタンプラリーも行いました。また、午後からは大縄とびも実施しました。

皆さんの協力もあり、無事に全競技を終了することができました。いろいろとハプニングはありましたが、多くの人から笑顔で楽しかったと言ってもらえることができました。また、両キャンパスの学生が交流している姿をたくさん見ることができました。

当日まで本当に慌ただしく、反省点も多いですが皆さんが楽しんでもくれたことがとても嬉しく思います。

競技に協力してくださった教官、学生の皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。

各種全国大会の結果



陸上競技

■射水キャンパス

- 男子円盤投 **1位** 竹部 真晃 (情報工学科5年)
- 女子100m **1位** 杉本 有希 (国際ビジネス学科3年)
- 男子110mハードル **3位** 五百 崎太郎 (電子情報工学科2年)
- 男子円盤投 **3位** 井波 晃希 (電子制御工学科4年)
- 男子砲丸投 **3位** 渡邊 勇太 (商船学科4年)
- 女子砲丸投 **3位** 植田 菜々実 (国際ビジネス学科1年)



柔道

■本郷キャンパス

- 男子個人73kg級 **3位** 堀田 謙弥 (環境材料工学科4年)
- 女子個人63kg級 **優勝** 白川 郁子 (環境材料工学科5年)

■射水キャンパス

- 女子個人48kg級 **2位** 藤木 明歩 (商船学科4年)

第47回全国高等専門学校体育大会 平成24年8月18日(土)～28日(火) 柔道女子個人、陸上男子円盤投・女子100mで優勝!

陸上競技、野球、サッカーなど14競技が、米子工業高等専門学校(鳥取県)をはじめ9つの高専を会場とし、熱戦が繰り広げられました。



卓球

■本郷キャンパス 男子団体 **3位**

- 藤田 慎也 (電気工学科4年) 山崎 拓生 (機械工学科4年)
- 山村 聖輝 (物質工学科4年) 大野 友也 (機械システム工学科3年)
- 貫田 洋輔 (環境材料工学科4年) 草山 怜司 (物質化学工学科2年)
- 佐伯 亮祐 (機械工学科4年) 熊野 雄介 (機械システム工学科2年)



水泳

■本郷キャンパス

- 女子100m平泳 **3位** 堀田 祥子 (物質化学工学科2年)
- 男子400m自由形 **3位** 佐伯 勇弥 (電気制御システム工学科2年)



バドミントン

■射水キャンパス 女子団体 **2位**

- | | |
|------------------|--------------------|
| 山崎 美里 (国際流通学科5年) | 中野 真 (商船学科2年) |
| 谷内 彩香 (情報工学科3年) | 川邊 真由 (国際ビジネス学科2年) |
| 小川 沙貴 (商船学科4年) | 堀 真那見 (電子情報工学科1年) |
| 栗山 葵 (国際流通学科4年) | 池田 真子 (国際ビジネス学科1年) |

女子ダブルス **3位**

- | | |
|----------------|---------------|
| 小川 紗貴 (商船学科4年) | 中野 真 (商船学科2年) |
|----------------|---------------|



ラグビー (射水キャンパス)



女子バレー (射水キャンパス)



剣道 (本郷キャンパス)

第19回 全国高等専門学校将棋大会

平成24年8月23日(木)・24日(金) 函館工業高等専門学校

■本郷キャンパス

男子団体 **3位**

- 松下 晃洋 (機械工学科5年)
- 中田 直樹 (電気工学科4年)
- 湊 開誠 (機械システム工学科1年)

女子個人戦 **優勝**

高村 咲也子 (環境材料工学科5年)



第34回 全国高専通信弓道大会

平成24年6月23日(土)～8月6日(月)

■本郷キャンパス

女子団体 **2位**

- 武藤 亜実 (物質化学工学科2年)
- 福澤 美咲 (物質化学工学科2年)
- 松本 彩 (物質化学工学科2年)



第47回全国商船高等専門学校漕艇大会

平成24年10月27日(土)・28日(日) 弓削商船高等専門学校(ヨットの部)
7月 7日(土)・8日(日) 弓削商船高等専門学校(カッターの部)

■射水キャンパス ヨットの部

- 総合 **3位**
- FJ級 **3位**

全国5つの商船高専で競われるヨット競技で、富山高専は、総合3位、FJ級3位の成績を収めました。

県外工場見学・流通見学(4年生)

工場見学を通して学んだこと

機械工学科4年 青島 佑樹



工場見学を通して、自分は企業の様々な努力や工夫、考え方等を知りました。1社目のTOWAでは商品を販売するための工夫を、ヤンマーの尼崎工場では販売先へ自社を知ってもらうための様々な工夫を、また小島プレス工業では製品を販売する体制や従業員への待遇の工夫等をそれぞれ知りました。豊橋技術科学大学では、さまざまな研究紹介がありましたが、中でも「とてもコストのかかる材料や加工法であってもそのメカニズムを解明することが自分たちのやっていることで、それを解明することによって世間に新しい技術を提案するのだ」という説明をされた教授の言葉が特に印象に残りました。最後に三菱重工では、人の命を扱う製品を製造する企業としての責任を製造工程の中で目の当りにしました。

今回の工場見学を通じて、どの企業も製品を製造、販売するにあたって販売先のニーズに合った製品の提案、自社の製品の良さを伝えることの大切さを知りました。

県外工場見学に参加して

物質工学科4年 北野 峻一



就職か、進学かを悩んでいる自分にとって有意義な工場見学にしなければならぬと思いながら、工場見学に参加しました。

まず最初に訪問した東レ瀬田工場では太陽電池のフィルムの製造工程を見学し、大企業の製造工程と学生実験との大きな差を実感しました。次に武田薬品工業とダイキン工業をそれぞれ訪問しました。武田薬品工業では特に衛生面における高い意識や取り組みが使用者の信頼を勝ち取っていること、ダイキン工業ではスマートフォンの液晶など生活のあらゆるところにダイキン工業製のフッ素が使用されていることを知り驚きました。最後はサントリー山崎蒸溜所を見学し、発酵など今まで学んだ事が目の前で進行していることにとても興奮しました。

今回の工場見学は知識力やコミュニケーション力など、自分に足りないものは何か、変わらなければならないものはないのか、ということを見直す良い機会になったと思います。

工場見学を通して見えたもの

電気工学科4年 大林 慎太郎



関東地区を中心とした今回の工場見学では吸収するものが多く、大変有意義なものとなりました。学内では見られないような機械、設備、そして、長年の研鑽による質の高い製品。それら一つひとつに興味を掻き立てられた4日間でした。どの企業を訪れても工場やプラントには人が多いという印象は受けませんでした。工場一つひとつが大きいからという要因もあるのですが、適所に人が配置されていて非常に効率よく生産活動を行っているという印象の方が強かったです。従来では職人の技術に頼っていたところに機械を導入して生産効率の向上を図る一方で、製品の出荷前の品質検査は一つひとつ手作業で細かく行っていて、上手く機械と人間が協力しあって製品を製造しているのだと深く印象に残っています。就職や進学を目前にして今回の工場見学では、自分の将来のヴィジョンの形成に少なからず良い影響になったはずで、ここで得た良い刺激を追い風にして学生生活を更に充実させていこうと思います。

県外工場見学を終えて

環境材料工学科4年 島谷 知里



工場見学では、1日目にJFEスチール、2日目は花王すみだ事業所・ANA機体メンテナンスセンター、3日目は日本乳化剤(川崎工場)・三菱みなとみらい技術館、そして4日目は東邦チタニウムへ行きました。実際に体験し、聞いてみないと分からないことを知ることができ、とても貴重な時を過ごすことができました。私は、進路を考える上で、どのような仕事に就きたいか具体的に決まっていませんでした。そこで、今回の工場見学では、「実際にいろいろな企業を見学する中で自分のやりたい仕事はどのようなものかを具体的にすること」を個人の目標としました。様々な工場を見学し、高専OBの方々との対話を通して、自分のやりたい仕事はどのようなものなのか見つめることができました。また、自分がどのような形で「ものづくり」に関わっていきたいかについて自分の考えを深めることができました。今後はこの工場見学で得たものを生かし取り組んでいきたいと思っています。

工場見学

電子制御工学科4年 碓井 悠太



私達は10月16日から19日にかけて東京・横浜を中心にANA、IHI、日産、パナソニックセンター、日本科学未来館、花王と6つの場所に工場見学に行ってきました。まず、1日目はANA機体メンテナンスセンターに行きました。まず、社員の方にANAの企業説明とボーイングの機体と機内の説明していただき、その後、ドッグ整備中の飛行機を見せていただきました。2日目はIHIと日産自動車に行きました。IHIでは工場内を見学させていただきました。加工機器のスケールの違いに驚きました。日産では自動車の製造ラインの見学をさせていただきました。3日目はパナソニックセンターと日本科学未来館に行きました。どちらも体験したことない技術が詰まっており、とても楽しかったです。最終日には花王の生産ラインを見学させていただきました。ほとんどが機械で作られていたのが印象に残っています。どの工場も電子化が進んでおり、これからもエンジニアが活躍しなければいけないということが実感できた工場見学でした。

流通見学の感想

国際流通学科4年 島 佐央里



10月16日～19日の4日間、流通見学に行ってきました。初日は、JICA地球ひろばで、JICAについてと海外青年協力隊の方のお話を伺うことができました。2日目は東京税関と外務省へ行きました。夜は、ウエスティンホテルで研修を行い、スイートルームにも通していただきました。外務省とウエスティンホテルでは、実際に動かれている先輩方のお話を聴くことができ、今後の進路の参考になりました。3日目は花王へ行き、顧客ニーズを商品に反映させるためのエコシステムなどの説明を受けたり、工場を見学したりすることができました。午後からはディズニーランドとディズニーシーにそれぞれ分かれて行動しました。夜は、京王プラザホテルに宿泊し、翌朝、先輩からお話を伺うことができました。4日間はあっという間でしたが、普段はできない貴重な体験ばかりで、とても充実していました。これらを今後の進路選択に生かしていきたいです。

工場見学を終えて

情報工学科4年 山下 里奈



私が一番印象に残っている企業はアルファシステムズで、ここは主にソフトウェアの開発を行っているところです。見学会では、開発中のアプリケーションを体験したり、オフィスを拝見したり、OGの方のお話を聞いたりしました。私はソフトウェア開発の仕事はひとりパソコンに向かっているのかと思っていましたが、実際はまったく違って、あらゆる場所で凄まじい討論が行われていたのびっくりしました。そのほかに、産業技術総合研究所、君津製鉄所、NTT武蔵野研究開発センターを見学させていただきました。工場見学では、仕事風景を見たり、社員の方と直接対話したりなど普段ではできない貴重な体験ができました。どの企業でも自分の仕事に誇りを持って作業していたので凄いいと思いました。私は進学を希望していますが、将来を考えるよい機会になったと思います。



アルファシステムズでの見学会(情報工学科)



外務省でのレクチャー(国際流通学科)

全国行きの切符を逃すものの、来年につながる実りある結果に。

全国の高専57校62キャンパスから各2チームがエントリーして行われる「高専ロボコン」。本校では、本郷・射水キャンパスから4チームが参加し、平成24年10月14日(日)、越前市体育館で行われた東海北陸地区大会に参加しました。各チームとも善戦空しく全国大会への出場はかないませんでした。射水キャンパスBチームが特別賞、他3チームが奨励賞を受賞し、来年への新たな目標の糧としました。

本郷キャンパス

チーム構成

Aチーム	
指導教員	金子 慎一郎
メンバー	藤川 枝実(伴走者) 杉原 和也(安全管理者) 入井 俊紀(ブレイクショット担当者)
Bチーム	
指導教員	井澤 正樹
メンバー	朝日 康平(伴走者) 鈴木 雄大(安全管理者) 竹村 沙友理(ブレイクショット担当者)



困難を極めた ロボット製作

Aチーム 12式従走高射機関砲(マークシューター)
入井 俊紀
(ブレイクショット担当者)

Aチームのロボットは全方向移動が可能な6足歩行ロボットです。ボールは3つの射出口より3発同時発射され、それを3回繰り返して9つのゴールにボールを入れるという方法により課題をクリアします。6足歩行ロボットではありますが、ロボットのイメージは「亀」となっております。

ロボット製作は困難をきわめ、ロボットの搬送日にも完成することはなく、試合ギリギリまで調整を行いました。完全に仕上げることはできなかったものの、試合に参加し1回戦は突破することができました。計画的に事を進められなかったことが本年度大きな反省点だと思われま。

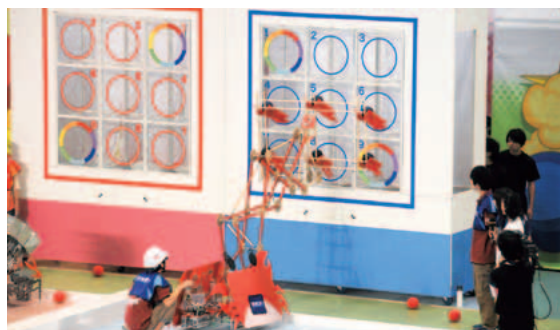
大会では成果を残すことができず、応援してくださった皆様には申し訳なく思います。来年度は反省を生かし、全国出場を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いたします。



ロボコンに 参加して

Bチーム 異観の射(いかんのい)
朝日 康平
(伴走者)

私達Bチームは、パンタグラフリンクを用いて、アームにのせた9つのボールをゴールに入れようと考え、マシンを製作しました。チームメイトや先生、工場の方々などのアドバイスにより、作り直すたびに成果は出て、成功に近づいていると実感でき、辛い日々でしたが、確実に9発入れる機構が完成しました。しかし、大会当日にレギュレーションに違反する作りであると指摘され、急遽高さを調整し、6発同時ゴール機構となってしまいました。また回路の調整が足りず、大会本番ではスタートゾーンから出ないという情けない姿を見せてしまい、応援してくれた方々には非常に申し訳ない結果でした。失敗を次に生かし、成功に導くのが今の自分に出来ることだと思うので、来年こそは全国へ行けるマシンを製作していきたいです。



アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012東海北陸地区大会

日時：平成24年10月14日(日) 場所：越前市体育館(福井県越前市)

2012年の競技課題 『ベスト・ペット』

相手チームがブレイクショットで競技フィールドに放った9つのボールを、伴走者が拾い集め、ペットロボットに渡します。ボールを受け取ったペットロボットは、9つのゴールにボールを入れていきます。高専ロボコンでははじめてコントローラーなしのロボット製作となり、競技でも人間とペットロボットがどのようにコミュニケーションをとりながら協同作業を行うのが、本大会の大きな見どころとなりました。

大会結果

特別賞(田中貴金属グループ賞)：射水キャンパスBチーム「Cat Food(ネコマンマ)」

奨励賞：本郷キャンパスAチーム「12式従走高射機関砲(マークシューター)」、

本郷キャンパスBチーム「異観の射(いかんのい)」、射水キャンパスAチーム「桃太郎△(ももたろうさんかけー)」

射水キャンパス



チーム構成

Aチーム	
指導教員	河合 雅司
メンバー	江尻 悠将(リーダー/伴走者) 水岡 宏樹(ブレイクショット担当) 小関 弘明(安全管理者)
Bチーム	
指導教員	百生 登
メンバー	ムハマド イリヤスビン イスマイル(リーダー/伴走者) 木戸 久暉(ブレイクショット) 谷内 秀太郎(安全管理者)



まるで生きているかのように、 伴走者に忠実に付いて回る ロボット

Aチーム 桃太郎△(ももたろうさんかけー)
江尻 悠将
(リーダー/伴走者)

私たちのロボットは、日本昔話「桃太郎」に登場する動物、犬、猿、雉をモチーフとしています。高専ロボコン、今年のテーマは「ベスト・ペット」ということで、ペットとしての愛らしさ、伴走者(桃太郎)に対する忠実さを表現できるよう努力しました。具体的には、モーションセンサというセンサを用いてロボットが伴走者との距離を一定に保つように振る舞うよう工夫したり、犬が尻尾を振り、猿が表情を変え、雉が羽ばたくという風にそれぞれの動物に動きを与えてペットらしさを表現しています。

大会当日は会場の照明の影響でセンサが正常に動作せず、残念ながら初戦敗退という結果に終わりました。しかしこの悔しさを糧にして、今後もロボコンに挑んでいきたいと思っています。



CatFood

Bチーム CatFood(ネコマンマ)
ムハマド イリヤスビン イスマイル
(リーダー/伴走者)

今年のロボコンのテーマは「ベスト・ペット」です。そこで、富山高専射水キャンパスBチームの6人は「CatFood」(読み方：ねこまんま)というロボットを作りました。ねこまんまは名前のとおり、形や歩き方は猫のように設計しました。そして、このロボットの特徴は人間を付いて来て、人間からボールをもらったときにペットらしく目の色が変わったり、尻尾をふったりします。また、CatFoodの一番すばらしい機能は遠くからボールをゴールまでシュートすることです。しかし残念ながら、今年の東海北陸地区大会ではCatFoodが準々決勝で負けました。最後に、応援してくれた教官方や学生の皆さん本当にありがとうございました。



北斗祭 第4回高専祭 テーマ「STEP」



ステージ企画



ステージ企画



ステージ企画



学科展示 電子情報工学科



学科展示 国際ビジネス学科



学科展示 商船学科



北斗祭とともにSTEP

北斗祭実行委員長 商船学科4年
齋藤 航大

東日本大震災から1年半が過ぎた日本の復興と重ね合わせ、今後も飛躍的な文化活動に期待を込めたSTEPというコンセプトの下に北斗祭運営を行ってきました。4月末に実行委員会を結成し、準備を進めていく過程で教官方や委員とぶつかり合うことが多々あり、マネジメントに苦労しました。しかし、ただひたすらに北斗祭成功に向けて委員全員で意思統一を図り、当日はすばらしい働きが実を結び、前夜祭を含めた3日間は富山高専が1年間で一番輝いている光景となりました。

私は北斗祭を通して、学校を動かし一つのことをやり遂げた達成感でこの上ない喜びを感じています。北斗祭が涙の大雨で大成功に至ったことは、教職員はじめ北斗祭実行委員会の努力の賜物です。本当にありがとうございました。

あなたは誰とSTEPしましたか？

開催日時：平成24年11月3日(土)、4日(日)

開催場所：射水キャンパス



演劇部



バドミントン部



後援会



鉄道部



ステージ企画



理工学同好会



「笑いと感動、涙、
その裏にある努力」
の3日間

北斗祭実行委員 国際流通学科4年
浜谷 夢菜

約6か月間、3日間の北斗祭のために委員を中心に準備をしてきました。その中には文字では表すことのできない苦労や感動がありました。ステージの華やかさ、活気あふれる模擬店、創意溢れる展示、見る人を笑顔にした装飾、情報発信Twitter、伝統の若潮丸、寒い中で交通整備、受付、ゴミ箱整頓。見えるところではもちろん、見えなくても一生懸命やっていたところが大成功でした。最高の仲間で、最高のお客さんで、最高の北斗祭でした。私はその一員でいることができて幸せ者です。ありがとうございました！



北斗祭に参加して

電気制御システム工学科3年
中川 尚大

来年の高専祭に向けた視察として、今回、北斗祭に参加しました。北斗祭の初日の天候は残念ながら雨でしたが、会場の盛り上がりはそれを感じさせないほど高く、2日目には天気も押されたのか、晴天となりました。北斗祭に参加したのは今回が初めてでしたが、参加者全員が、北斗祭を心から楽しんでいて、北斗祭を盛り上げようと、全力を尽くしているように感じられました。来年の高専祭は、こちらの本郷キャンパスで開催されます。今年の北斗祭を見習い、精一杯がんばりたいと思います。

県内工場見学(3年生)

各学科の先

機械システム工学科：(株)朝日印刷、パナソニック(株)デバイス社フィルムキャパシタディビジョン
電気制御システム工学科：北陸電力(株)(志賀原子力発電所、福浦風力発電所)
物質化学工学科：日東メディック(株)、富山化学(株)

電子情報工学科：富山富士通、北陸電力PR館
国際ビジネス学科：北陸銀行本店、コマツNTC
商船学科：航空自衛隊小松基地、富岩運河水路上ライン



機械システム工学科



商船学科



中島開門

県内工場見学で学んだこと

機械システム工学科3年 井田 史哉

私たち機械システム工学科は、朝日印刷株式会社とパナソニック株式会社デバイス社を見学しました。

朝日印刷株式会社では、医薬品のパッケージの製造工場を見学しました。企業の方から医薬品の包装資材は医薬品と同じくらの品質管理で作られていると聞いて驚きました。パナソニック株式会社デバイス社では、コンデンサの製造工程を見学しました。世界初の蒸着薄膜技術を用いてハイブリッドカーや電気機器などのフィルムコンデンサを作っていて、厚さ2.8μmのフィルム表面に金属が蒸着されているのを見てすごい技術だと思いました。

工場見学を通して、これからは海外の人と仕事をすることが増えていくので、語学力が必要だと感じました。また、機械系の仕事は数多くあるので、今後は、自分のやりたいことを見つけて進路について真剣に考えていきたいと思えます

県内企業見学

国際ビジネス学科3年 新家 彩夏

私たち国際ビジネス学科3年生は、10月19日、県内企業見学として北陸銀行本店とコマツNTCを訪問しました。どちらの企業も国内に留まらず、世界の様々な場所にも拠点を置いているので、私たち国際ビジネス学科生にはとても興味深い企業でした。

私は特に北陸銀行の経営方針が印象に残りました。北陸銀行は従業員一人ひとりが日々自分のお客様に対するサービスを高める努力をしており、土日に勉強会を開いているそうです。自分たちの利益ばかりを追求する主観的視野ではなく「お客様に選んでもらうには」という客観的視野を持つことが数ある同種企業の中で選ばれる方法なのだと思います。

今回の企業見学で、私は就職するということが、考えている以上に大変なものであると感じることができました。今後は就職のために今やるべきことをしっかりやろうと思います。

県外研修(2年生)



物質化学工学科



国際ビジネス学科

飛騨高山の魅力再発見

電気制御システム工学科2年 山田 大貴

研修の行先が、私の地元飛騨高山だと聞いた時は、「えっ!？」と驚いていましたが、いざ行って班の人と一緒に観光してみると、高山の町を歩くことが久しぶりで、とても懐かしく思えました。

古い町並では「建物が思っていたより古いなぁ」と感じたり、陣屋では「歴史で習った資料がこんな身近にあったんだ」と驚いたり、故郷としての懐かしさ以上に「城下町」高山の魅力を感じることができました。

お昼には高山ラーメンを食べました。しょう油味スープに細麺というシンプルなラーメンですが、お勧めの味です。テレビ番組収録中の人気芸人「ロッチ」と「我が家」にも会え、「観光地」としての高山も楽しみました。

地元に住んでいるとなかなか「観光する」ことは難しいのですが、今回の研修では、今までは気が付かなかった高山の良い所をたくさん見つけることができました。

飛騨高山の古い町並み

電子情報工学科2年 二上 由梨

私は飛騨高山へ行き、「古い町並み」と呼ばれる高山でも名の知れた観光スポットを散策しました。伝統的建造物群保存地区に指定されているその町並みは、出格子という格子が連なり、提灯や暖簾が店先に飾られていて、まるで江戸時代の風景を切り取ってそのまま貼り付けたかのような印象を受けました。風情あるその風景は、見るだけで当時の雰囲気を感じることができて楽しかったです。他にも、地元では見られない人力車を見ることができ、みたらし団子や飛騨牛串といった高山のおいしい食べ物をたくさん食べ歩かれました。雑貨屋やお土産屋などの数も豊富で、私は「古い町並み」という場所だけで飛騨高山の良さを十分に知ることができたように思います。

今回は研修で時間が限られていたため少し慌ただしかったので、ぜひ次は1日かけてゆったりと観光してみたいと思います。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

企業研究会を開催



企業研究会

11月10日、本郷キャンパスにおいて富山高専企業研究会が開催されました。この研究会は、富山高専技術振興会と連携したキャリア教育事業の一つです。

今年度は、29社に参加いただき、本科4年生と専攻科1年生あわせて156名が参加しました。各企業のブースには1～4名の企業担当者が常駐し、学生は最大6名程度の少人数で各企業の説明を受けました。また、研究会に先立ち、企業担当者を前に専攻科生がプレゼンテーションを行いました。発表した学生には、「いい発表だったよ」「流暢な外国語だったね」などの声がかかっていた。

参加学生にアンケートを行ったところ、96%の学生が「参加してよかった」と回答し、「県内企業の仕事内容について知ることができた」「知らない企業に出会うことができた」「企業が求める人材について知ることができた」などの意見が寄せられました。

教員表彰

国立高等専門学校教員顕彰で 理事長賞を受賞

本校国際教育センターの青山晶子教授が、平成23年度国立高等専門学校教員顕彰一般部門の理事長賞を受賞し、8月28日～30日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「高専制度創設50周年記念平成24年度全国高専教育フォーラム」において、授賞式と教員顕彰受賞者講演が行われました。



教員顕彰授賞式(右側から3番目が青山教授)

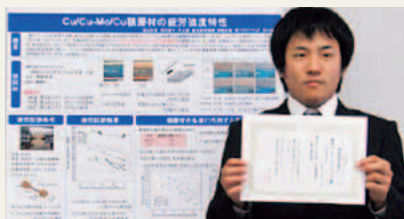
シンガポール・テマセクポリテクニク から短期留学生を受け入れ



シンガポールからの留学生

9月24日、射水キャンパスは、シンガポールのテマセクポリテクニクから4名の短期留学生を受け入れました。春のタイ・キングモモンクット工科大学からの留学生に続き、短期留学生の受け入れは本年度2回目になります。テマセクポリテクニクとは平成23年に交流協定を締結しており、その一環として短期留学生を受け入れました。留学生は、12月までの約3カ月間、国際ビジネス学科の指導教員のもと、それぞれの研究テーマについて指導を受けます。また、本校の学生との交流や、各種行事やクラブ見学などを通して日本のさまざまな文化に触れ、日本への理解を深めています。

専攻科生が 優秀プレゼンテーション賞を受賞



エコデザイン工学専攻 西水真洋君

8月24日、エコデザイン工学専攻2年生の西水真洋君が、平成24年度高専一長岡技科大(機械系)教員交流会研究集会「研究情報交換会」において「優秀ポスター賞」を受賞しました。

演劇部が最優秀賞受賞



演目:越智優作・紅井里緒菜潤色「夏芙蓉」

本校演劇部が、10月28日に開催された第55回富山県高等学校演劇研究発表大会において「最優秀賞」を受賞しました。演劇部は、富山県代表として12月23日～26日に福井市で行われる中部日本大会に出場します。

新聞感想文コンクールで 最優秀賞を受賞



国際ビジネス学科 篠崎 雅さん

11月25日、国際ビジネス学科3年の篠崎雅さんが、第3回北日本新聞新聞感想文コンクールにおいて、高校生の部で最優秀賞に選ばれ、表彰式がありました。新聞感想文コンクールは、新聞に親しみ思考力や表現力を養ってもらおうと、北日本新聞社と北日本詩文販売店で作る北日本会が実施しているもので、高校生の部には県内の高校17校から1,057点の応募がありました。篠崎さんは、「本が好きだから」というタイトルで、紙媒体と電子書籍を比較し、書店の魅力をつづりました。

本校教職員表彰

6月8日、平成23年度富山高専専門学校教職員表彰授賞式が射水キャンパスで行われました。優れた教育を実践している教員を表彰する教育部門では、物質工学科の河合孝恵准教授と国際ビジネス学科の清水真准教授が選ばれました。



教職員表彰授賞式



平成25年度入試情報

富山高等専門学校

学科生募集

中学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成25年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦によるものと学力検査によるものの2つの方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

本郷キャンパス

機械システム工学科 入学定員 40名
電気制御システム工学科 入学定員 40名
物質化学工学科 入学定員 40名

射水キャンパス

電子情報工学科 入学定員 40名
国際ビジネス学科 入学定員 40名
商船学科 入学定員 40名
航海コース(20名)・機関コース(20名)

選抜方法

推薦による選抜

平成25年1月27日(日)
面接 定員の50%以内

学力検査による選抜

平成25年2月24日(日)
英語、数学、国語、理科、社会

なお、入試関係情報の詳細については、学生募集要項または下記でご確認ください。

申込・
お問い合わせ

本校HP入試情報

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>

本郷キャンパス学務課 入学試験担当

電話(076)493-5498

射水キャンパス学生課 入学試験担当

電話(0766)86-5145

学生相談室からのお知らせ

Information

本郷キャンパス 学生相談室長 日比 端洋

本郷キャンパス学生相談室は、学生のみなさんが学校生活の中で出会う様々な問題について、相談員が、じっくり話を聴きながら、みなさん自身で自分なりの答えを見つけられるよう考えるお手伝いをする場所です。勉強の質問や進路のこと、クラスや部活のこと、先生のこと、一人ではなかなか答えが出ないこと、何でも結構です。なんとなくおしゃべりしたい人も歓迎です。必要ならば、臨床心理士やキャリアカウンセラーなど専門家の助けを借りることもできます。もちろん、相談の内容については固く秘密を守ります。面識のない先生を訪ねたり、人に自分の内心を打ち明けたりするのはエネルギーのいることだと思いますが、誰かに話を聞いてもらいたいときは、迷わず相談室を訪れてください。

相談員は、毎週月曜日～金曜日の午後3時30分から午後5時まで相談室での相談に応じています。火曜日と水曜日は、専門のカウンセラーもいます。相談を希望される方は、保健室(Tel 076-493-0533)またはgaku-soudan@nc-toyama.ac.jpまでご連絡ください。

射水キャンパス 学生相談室長 岡部 寛子

ストレスの多い現代社会、学生たちも決して例外ではありません。特に思春期といわれるこの時期は誰もが多くの悩みを抱え、自分と向き合いながら社会に巣立つ準備をしていきます。悩みを持つのは当たり前なのです。そんな学生たちが生き生きと充実した生活を送れるようサポートすることを目的に「学生相談室」が設置されています。

「相談室」は、教員から選出された学生相談員と看護師で構成されています。さらに週2回(火・水曜)は臨床心理士の資格を持つカウンセラーも来校します。

また、本校では学生に関する保護者の方の相談も受けています。相談相手の第一は担任ですが、心の専門家の意見も聞いてみたいとお思いでしたら、「学生相談室」に気軽においでください。相談内容の秘密は厳守します。同時に、必要な場合は担任、学科長、学年主任、教務主事、学生主事、寮務主事などとも連携して学生をサポートします。

相談を希望される方は、保健室(Tel 0766-86-5140)またはsoudan@nc-toyama.ac.jp(相談室長と看護師にメールが届きます)までご連絡ください。

Editor's room 編集後記

夏

期休暇以降、たくさんの方の大会、行事があり、多くの場面で富山高専の学生たちが活躍しました。5号に引き続き、学生のお原稿や写真を多く取り入れ、なるべく学生の輝きが伝わるよう心がけたつもりです。普段の授業の時に見せる様子とはまた違った一面を見ることができ、頑張っているなど感心させられます。ますます活躍の場を広げていくと欲しいと思います。学生への理解、支援をしてくださった皆様には心よりお礼申し上げます。

誌面の都合上、すべてを紹介できないのが残念です。学校のホームページも多くの情報を載せています。そちらの方もご覧になってください。そして、高専通信やホームページに関するご意見・ご要望等がございましたら、広報戦略室までお寄せください。よりよいものを作るための参考にさせていただきます。

広報戦略室副室長 寺崎 由紀子

問い合わせ先

本郷キャンパス：〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402
射水キャンパス：〒933-0293 富山県射水市海老江練合1番2 TEL 0766-86-5112

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

